

イシハラフーズ株式会社（宮崎県）

JGAP 2020年取得（ほうれんそう、こまつな、えだまめ、さといも、にんじん、だいこん、ブロッコリー）

所在地：宮崎県都城市下川東2-1-1

面積：460ha（延べ面積）

応募区分：個別経営の部

構成員：19名（同社農産部門の従業員数）

栽培品目：ほうれんそう、こまつな、えだまめ、さといも、にんじん、だいこん、ブロッコリー



スイミー都城「女性王業者のためのトラクター講習会」

▼GAPに取組んだきっかけ

- 平成15年、農業生産法人として農業参入し、同18年エコファーマー認定を受ける等、環境負荷低減の取組を実施
- 平成30年頃、取引先からGAP認証の紹介を受け、令和2年10月、ほうれんそう、こまつな、えだまめ等でJGAP認証を取得

▼GAPの継続に向けた取組

- 社内で定期的にGAP研修会を開催し、従業員のGAP営農レベルを維持・向上
- GAPの取組等を記録し、社員間でリアルタイムに共有できる独自の営農アプリを自社開発
- クレームの削減と農福連携の取組として、収穫した葉物野菜の異物除去やほ場の除草を地域の就労継続支援B型事務所が請負



←従業員のスマホに表示されたGAPに関する内容の作業指示



自社開発した営農アプリでほ場QRコードをスマホに読み込み

▼生産効率の向上に向けた取組とその効果

- 化学分析担当の社員を置き、適正な土壌管理を実施。自社の検査センターで土壌分析を行い、診断に基づいた「土づくり」を行っている。全790ほ場で年1回診断を実施し、生育の思わしくないほ場は頻度を上げて分析し、改善
⇒ 土壌分析に基づいて化学肥料の減肥・有機質肥料の積極的な使用を行い、全てのほ場で特別栽培農産物を生産
- フィールドマンを置き、作物の生育や病害虫の発生、農薬散布を一元管理し、全ほ場で特別栽培
- 社内で情報管理・情報共有のデジタル化を進めたことで、従業員はその日の作業ほ場に直行し、直帰することが可能に
⇒ 作業記帳等に費やしていた1日30分程度の労働時間削減

▼波及効果

- スイミー都城（都城市、三股町の雇用型経営体の経営完全活動のグループ）に設立当初から参加し、地域の農業課題の解決に向けて様々なプロジェクトを実施
⇒ スイミー都城設立後、参加法人4社がGAP認証を取得